

沖縄観光の新しい取り組み!

昨年、沖縄への観光客は五五〇万人を超えました。沖縄独特の自然や伝統文化に、多くの人々が魅力を感じているようです。県でも、ウチナーンチュが世界に誇れる沖縄の財産を自覚し、沖縄観光の質をより高めるために様々な取り組みを行っています。



1 海外からの観光誘客

●沖縄観光の継続的な発展をめざして

沖縄観光は、好調に推移しています。沖縄県を訪れた外国人観光客は十三万七千人と、全体に占める割合は二・五％。観光客のほとんどを国内に頼っているのが現状です。沖縄観光が将来に向けて安定的に成長するためには、観光客の増加が見込まれる東アジア地域からの観光誘客に、積極的かつ、戦略的に取り組んでいく必要があります。このような中、中国では、昨年七月から団体観光ビザが中国全土に拡大されたほか、台湾、韓国、香港でも観光ビザが免除されるなど、観光誘客を取り巻く環境が大きく変化しています。政府は「デジタルジャパンキャンペーン」を展開し、二〇一〇年までに訪日外国人を一千万人とすることを目標としています。



ビジット沖縄キャンペーン(台湾)

県でも、中国からの観光誘客をさらに推進するため、七月下旬に知事を团长とする代表团が中国北京・上海を訪問するなど、海外からの観光誘客を積極的に展開しています。

特に、本県との直航便のある台湾、韓国、中国等を重点地域として、メディアを活用した沖縄の魅力発信、国際観光展への出展、魅力ある商品づくりやチャーター便への支援、マスコミや旅行関係者の招へいに取り組んでいます。

また、外国人観光客の受入体制の整備として、空港案内所での外国語対応や、各種案内標識の英語表記、ウェブサイトに「真南風ブラス」での多言語による情報発信など外国人観光客が快適に滞在できるように環境づくりに努めています。



上海で沖縄観光をPR

2 エコツーリズム

●地元も観光客も感動できる新たな旅の楽しみ

沖縄観光は、団体から個人へ、見る旅行から参加・体験する旅行へと変化しており、生態系や自然環境に配慮した旅を通じて環境への理解を深める「エコツーリズム」への関心が高まっています。

エコツーリズムとは、ガイドにその土地の生き物や風習、特産品などについて説明してもらいながら、ゆっくりと散策し、その土地の魅力を発見していく新しい旅行のスタイルです。

自然、歴史、文化など地域の資源を活用したエコツーリズムは付加価値が高く、沖縄観光の質を向上させる意味でも期待されており、慶良間列島や西表島、石垣島、宮古島、やんばるなど



東村・慶佐次川でのカヌー体験

3 観光のバリアフリー化

●すべての人にやさしい観光地づくり

近年、ノーマライゼーションや高齢化の進展などを背景に、障害者や高齢者の旅行が増えています。

そのため、車いすに対応した駐車場・トイレ、スロープの設置や手話対応、接遇の向上など観光地でのバリアフリー化が求められています。

しかし、観光地でのバリアフリーを実現するためには、観光事業者や一般県民の意識向上、障害者や高齢者に向けた観光情報の充実、行政と民間の連携など多くの課題があります。

そこで、県では、すべての人にやさしい観光地づくりをめざして「沖縄県観光バリアフリー化推進事業」を実施しています。

具体的には、①観光事業者向けの接遇セミナー・講習会の実施、②観光・宿泊施設などのバリアフリー情報を掲載したサイト「誰でも美ら島ネット」<http://resort-jp.net/okinawa/>による情報発信、③モニターツアーの実施、④観光バリアフリー化の推進方策の検討を行うワーキンググループ会議の設置などを行っており、バリアフリー化に積極的な事業者が増えてきています。

バリアフリー化を進めていくことで、観光地としてのクオリティも高まりま

す。

障害者、健常者の区別なく沖縄を楽しむことができるよう「すべての人にやさしい観光地」をめざして、県民みんなを取り組んでいきましょう。



美ら海水族館(本部町)



バリアフリーモニターツアー(宮古島市・東平安名崎)

お問い合わせ ■県観光振興課 TEL:098-866-2764 FAX:098-866-2765 ■県観光企画課(観光のバリアフリー化について) TEL:098-866-2763 FAX:098-866-2767